

平成27年度行政評価 施策評価シート（平成26年度実績）

施策名 男女共同参画社会に向けた意識変革の推進

施策コード 010201

1. 施策の担当	
主管課	市長公室 人権推進課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第1章 市民と協働し、すべてのひとが輝くまちづくり（自律・協働）	節 第2節 男女共同参画
	施策	男女共同参画社会に向けた意識変革の推進	

基本方針
男女共同参画への理解が幅広い層へ広がるように、既設施設の有効活用をはじめ、市民及び市民グループと協働し、意識変革を進めます。

現況と課題
第2次いずみさの男女共同参画行動計画（第2次人ひとプラン）に基づき、毎年、進捗状況及び実施計画の調査を行いながら、計画の推進に努めています。
・これまでの取組の成果として、男女共同参画を推進するリーダーとなる人材の育成やグループの組織化を行い、市民協働型の事業実施を行っています。
・各種講座、セミナー等を開催していますが、市民ニーズの多様化や新しい課題に対応する必要があります。
・配偶者からの暴力をはじめとした様々な問題を抱える女性を支援していくために、相談事業の拡充が求められています。

施策目標
対象（誰を、何を、どこを）
市民及び事業者

意図（どのような状態にしたいのか）
あらゆる人に男女共同参画についての理解が広がり、男女共同参画社会実現への合意を形成する。

3. 市民ニーズ							
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
満足度（偏差値）			53.7				
重要度（偏差値）			30.3				

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	千円	H25決算	H26決算				
	事業費		18,667	19,022				
	フルコスト		1,664	1,655				
財源内訳	国庫支出金	千円						
	府支出金							
	市債							
	その他							
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		20,331	20,677				
一般財源2（＝直接事業費－特定財源）	1,664	1,655						

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		いずみさの女性センターの年間利用者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	3,310.0	3,400.0	3,800.0	3,800.0	3,900.0	4,000.0	4,100.0
実績値	3,104.0	2,885.0	3,830.0	3,078.0	4,270.0		
達成度	93.77	84.85	100.78	81.0	109.48		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
男女共同参画社会づくりの拠点施設であるいずみさの女性センターの利用者数は、男女共同参画社会の市民理解力啓発の指標の一つとなり得る。		過去の実績を考慮した上で、今後の事業展開による増加目標値を設定した。		依頼先に出向いてのセミナー・研修の参加者や、電話相談等の来館以外の利用者も増加している。			

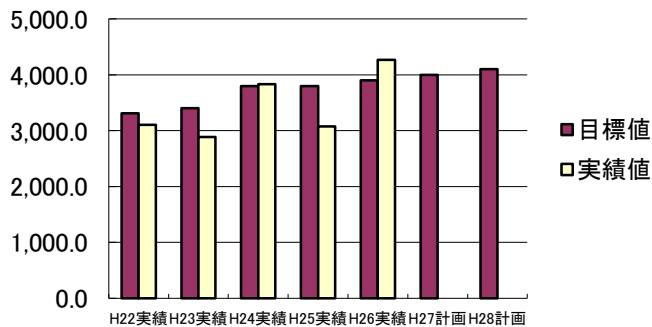
② 成果指標 2		男女共同参画啓発講座等の男性参加率					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	33.1	35.0	37.5	40.0	40.0	40.0	40.0
実績値	33.1	21.2	59.6	13.6	34.2		
達成度	100.0	60.57	158.93	34.0	85.5		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
男女共同参画社会の実現には女性と男性双方の意識変革が重要であり、啓発講座等の参加者の男女比率が1：1になることを指標とした。尚、H26年度実績より、実績値の積算について見直しを行い、女性限定を除く意識変革啓発講座参加者数における男性参加者数とした。（これまで女性相談や女性限定講座を含んでいたため除外した）	達成目標は50%におくが、通常の啓発講座における男性参加率は約5%であるため、当面は40%を目標とする。	主催講座のテーマ設定にあたっては男性も興味を引く内容を意識し実施日・時間設定についても就労者が参加しやすいよう配慮した。また、小学校へのゲストティーチャー派遣を強化した。尚、H26年度実績より、実績値の積算について見直しを行い、女性限定を除く意識変革啓発講座参加者数における男性参加者数とした。（これまで女性相談や女性限定講座を含んでいたため除外した）

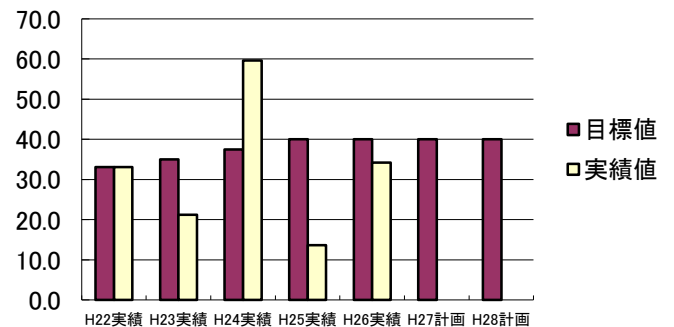
③ 成果指標 3		ワーク・ライフ・バランスに関する市民向け啓発講座等の参加人数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値					73.0	90.0	90.0
実績値					73.0		
達成度					100.0		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
平成27年9月4日の「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」施行を受け、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活の調和）の実現がますます重要になることから、新しい指標として追加した。	平成26年度の全講座・セミナーの参加者数351人に対し、「ワーク・ライフ・バランス」「女性への暴力」「チャレンジ支援」「交流事業」の重点4事業で割った数字90人を目標値とした。	平成27年9月4日の「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」施行を受け、平成27年度評価（26年度実績）より新たに追加。27年度事業より取り組みを強化した。

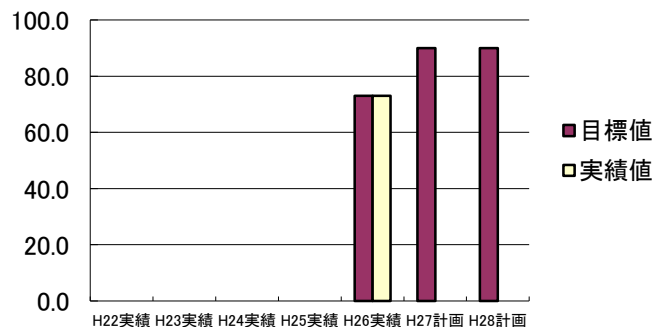
成果指標①



成果指標②



成果指標③



図表

6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 3	いずみさの女性センターの年間利用者数については、目標値、対前年度比ともに上回った。男女共同参画啓発講座等の男性参加率については目標値に近づいたものの未だ目標値には達していないため、今後も社会潮流を意識し、ワークライフバランスの周知啓発等の男性にも参加しやすいような講座等の企画の工夫が必要。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	複雑な現代社会において、性別に関わらず人権が尊重され、男女がともに生きやすい男女共同参画社会づくりが市民ニーズに定着されつつあるものと考えする。身近なテーマでアプローチしながら、今後も市民ニーズの掘り起しが必要。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	国の第三次男女共同参画基本計画及びDV防止法、府の男女共同参画すいしん条例、おおさか男女共同参画プラン、それらの法令等に掲げられている従来型の女性のためだけの共同参画ではなく、男性や子どもにとっての男女共同参画の新たな展開が社会潮流となってきた。また、政府の経済成長戦略においても女性の活躍促進を中核としている。
	合計点	(10点中) 8点	
	総合評価	B	いずみさの女性センターの年間利用者数については、目標値、対前年度比ともに上回ったが、男女共同参画啓発講座等の男性参加率については引き続き目標値を大きく下回っており、社会潮流や男性のニーズを意識し、ワークライフバランスの周知啓発等の男性にも参加しやすいような講座等の企画や館外での講座実施等工夫が必要。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	B	ワークライフバランスの周知啓発等に努めること。	
三次評価 (理事者による評価)	B	男女共同参画啓発講座等の男性参加率及びワークライフバランスに関する市民向け啓発講座等の参加人数の拡充に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			H26年度決算額			H27年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01007250	男女共同参画サポート事業	19,022	1,655	1,655	699	B
合計			19,022	1,655	1,655	699	